

## 5-2 アンケート調査結果のまとめ

以上の結果から地域居住者の地域内の「みち」ないし、身近な環境についての意見を総合的にまとめます。

### (1) 年齢別の移動手段の違い

- ・右図は年齢別に徒歩・自転車・自動車の移動手段について整理したグラフです。80歳代では車を利用する手段としては使わなくなり、徒歩のみにたよる傾向があります。高齢化率の増加が避けられないこれからの社会では新たな移動手段への整備が問われていくと考えられます。
- ・自転車のみを使う傾向は70歳代までは増え続ける傾向が見られます。
- ・徒歩・自転車・自動車とも全ての手段を使うのは30、40歳代の働き盛りが多く、徐々に減るようです。

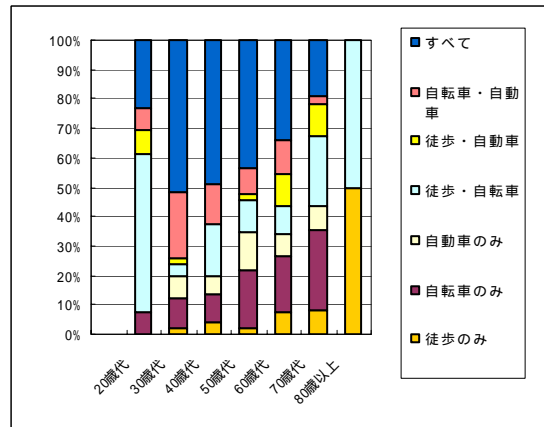


図 5 31 年齢別移動手段

### (参考) 自動車保有率の比較

- ・狛江市の保有率では武蔵野に次少なく、三鷹と同じ。
- ・公共交通手段が近距離内で使える都市条件が作用か。
- ・さらに高齢化率（65歳以上）では右図にあげた都市の比較では狛江がもっとも高い。（19.1%）

狛江	0.49
武蔵野	0.42
三鷹	0.49
府中	0.58
調布	0.50
町田	0.76
国分寺	0.56
国立	0.57
多摩	0.67
世田谷	0.47

表 5 1 乗用車保有率比較  
(地域経済総覧：2006年度)

### (2) 現況の道路幅員状況調査（市民会議による調査）

事前に地域の道の状況を調べ、調査結果との照合させました。下記に結果を示します。

- ・南北に通る八幡通り、東西の小足立通り以外は路線としての体系付けが難しい。
- ・歩道なしの6m以上の道路が極めて少なく、交通や防災等の問題を抱えている。
- ・特に西野川3、4丁目付近が4mないし4m未満の道路が集中している。
- ・小足立通りの北側に平行する旧七小前の道は八幡通りとの交差点で3m未満の箇所もある。

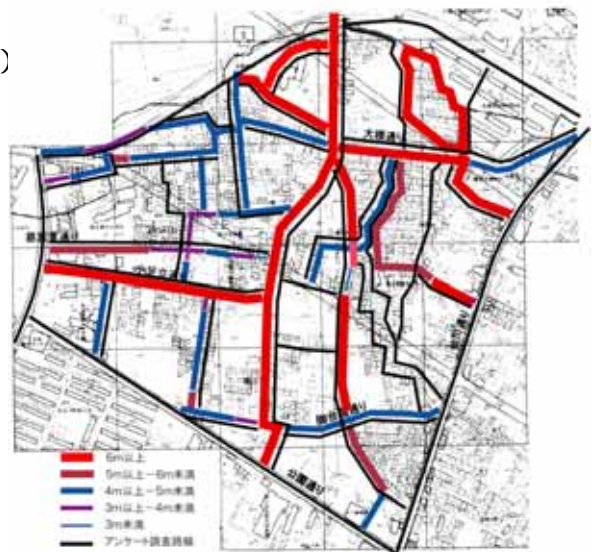


図 5 32 幅員別図

### (3) 徒歩による主要利用路線

アンケートの回答者数を図面上に表示することによって、利用頻度の状態を見てみる。

- ・南北の八幡通り徒歩の大半が集中している。
- ・東西道路では小足立通り、とそれに平行する旧七小前通り、大橋通り、および御台橋通りが次に利用頻度が高い。
- ・環境上は優れ、交通面での安全性には問題のない野川緑地公園は目的動線としては使われていない。

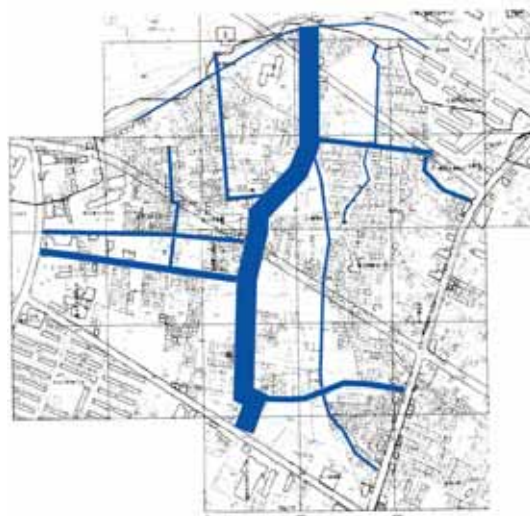


図 5 32 徒歩による利用主要路線

### (4) 自転車による主要利用路線

- ・徒歩と同様に八幡通りに集中。
- ・東西も小足立通り、大橋通り、御台橋通りが同様に利用されている。
- ・徒歩と自転車ではほとんど差がない。



図 5 33 自転車による利用主要路線

### (5) 自動車による主要利用路線

- ・八幡通りへの集中は変わらず。
- ・他の路線は幅員との関係があり、小足立通りと大橋通りのこの地域では広めの道路が利用されている。
- ・小足立通りは直線路線であることも利用が高い要因と思われる。
- ・狭い幅員の利用は極端に減る傾向がある。

以上の結果から移動手段に関係なく全て八幡通りに集中しており、以下に示す問題点から早急な改善策の必要性があげられます。



図 5 34 自動車による利用主要路線

(6) 路線総合評価 - 1 : 徒歩・自転車

- ・ 徒歩と自転車利用はほぼ類似している。
- ・ 主要利用路線全て幅員の狭さが指摘されている。
- ・ 交通量が多く危険との指摘路線

最大：八幡通り

次：小足立通り、大橋通り、御台橋通り

- ・ 歩道なしによる危険性指摘路線

八幡通り、小足立通り、大橋通り

- ・ 防犯上の危険指摘路線

この面での指摘は極めて多い。交通量の多い八幡通りは人目が多いことが幸いしていると考えられる。人通りが少ない路線は防犯面では危険である。

- ・ 良好な環境の指摘

八幡通り東側に集中している。



図5 35 徒歩・自転車からの問題点指摘

(7) 路線総合評価 - 2 : 自動車

- ・ 歩行者や自転車に対しての危険意識として幅員の狭さの指摘が多い。

- ・ 主要路線はほとんど見通しが悪い。

- ・ 歩道なしによる危険性

八幡通り、小足立通り

- ・ 防犯上の危険性

自動車側からは指摘数が少ない。運転者側からはあまり意識されない結果と考えられる。

- ・ 良好な環境への指摘

量感として見えない場合、車側からは意識の少ない要素と考えられる。



図5 36 自動車からの問題点指摘

(8) 環境面からの評価指摘

八幡通り東側に集中しており、西側地域の住環境の課題があげられる。

意識されている良好な環境要素分布

- ・ 公共空間としての指摘

野川、野川緑地公園とそれに平行した緑道、前原公園、及びのびのび公園

農地

- ・ 八幡通り沿いに広く分布する農地

広々とした環境要素であり、市内の貴重な資源。

- ・ 史跡

八幡神社、及び地藏尊



図5 37 評価された環境要素

### 潜在意識としての環境要素

地域の現状としての意識ではなく、こうありたいと考えられている要素を聞く設問ですが、公共空間側の整備とほぼ同じ比率で民地側に期待する空間要素が指摘されています。

#### ・町並み及び庭・生垣への期待

これは住宅地環境として極めて重要な要素。身近にかつ日常的に感じられる環境整備の期待感の表れであり、自らが快適な「まちづくり」に直接関われる要素である。

右図からは徒歩ないし自転車などの尺度で環境整備が求められる要素が多い。

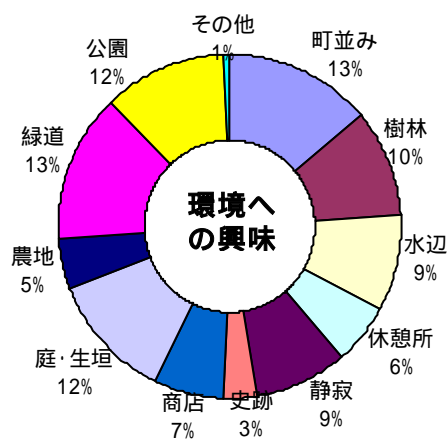


図5 38 身近な環境への興味の比率

### 環境整備への基本的視点

今後、環境整備を考える際の拠り所となるものです。

- ・安全性がもっとも多く、地域の実情を示していると考えられる
- ・次に快適性が求められている。この要素は上記に示したような内容がイメージされていると考えられる。

この二つを基本として対策を考えることですが、その他の親しみや清潔等に環境も含めて具体策を提示していく必要があります。

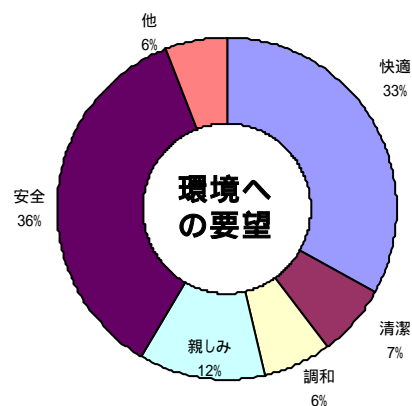


図5 39 環境づくりへの拠り所

### 5 3 現地路線調査方法

#### (1) 調査方法

##### 調査の目的

歩行者・自転車の視点にたった生活道路整備の基礎的条件を探ることです。

##### 調査の内容

調査地域内のみち沿いの状況を土地利用・建物状況・敷地の状況・植栽等の環境・車による危険性等の調査です。

##### 調査の方法

日時：2006年7月～8月

調査路線：27（別紙：アルファベットで表示）

調査項目 みちの状況（幅員、線形、歩道の有無（片側か両側か）・形態、植込みの有無）

土地利用（住宅地、農地、商業地、樹林地、駐車場、公共地、緑道等）

みち際の状況（建物との空きの有無、生垣の有無、駐車場等）

評価（・快適性：散歩したい等の心地よさを感じるか）

（・清潔感：整理整頓等についてみち側の管理がされているか）

（・調和性：食最良、隣接する建物との相互関係が意識されているか）

（・親しみ度：空間のスケール感、自動車交通の関係等での住手相互の生活感）

（・安全性：自動車の交通量、防犯性等）

#### 5-4 現地調査の結果と評価

市民会議側によって沿道環境の状況調査を行いました。アンケートでの調査路線との照合を下記に示しますが、その中でアンケート結果から利用頻度の高い路線について、土地利用は建物状況等について整理し、主要路線の改善素案づくりへの資料とします。

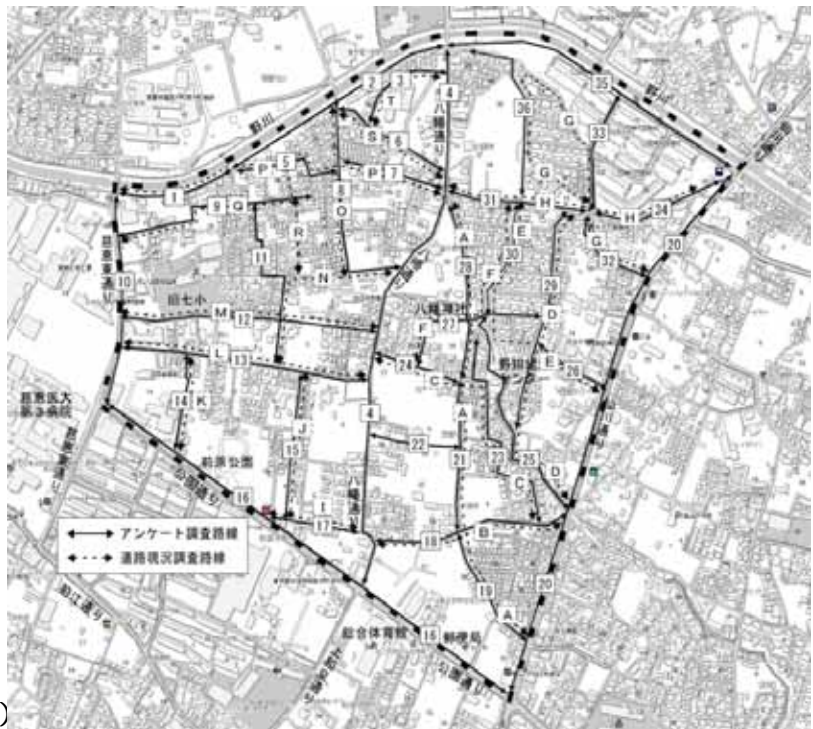


図5 40 調査路線名対応表示  
（現地調査とアンケート調査）

現地調査路線名とアンケート調査での路線名との対応を下記に示します。

現地調査路線	アンケート調査路線	現地調査路線	アンケート調査路線
A	19・21・28	N	8・11
B	18	0	8
G	31・32・33・36	P	1・5・7
L	13	八幡	4
M	12		

■路線評価 1

路線 A(28, 21, 19)	
1 道の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幅員構成</li> <li>●線形</li> <li>●歩道</li> </ul>
2 土地利用と道沿いの状況	
3 建物	
4 評価	
●快適性	
●清潔感	
●調和性	
●親しみ度	
●安全性	



■路線評価 2

路線B(18)	
1. 道の状況 ●幅員構成 ●線形 ●歩道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4. 5 m</li> <li>・ ほぼ直線、中間部に曲線があるが、比較の見通しは良い</li> <li>・ 両側ラインのみの表示</li> <li>・ 幅は狭いが見通しが良いため、車のスピードは出やすい。</li> </ul>
2. 土地利用と道沿いの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主に住宅地であるが、商業、農地、駐車場などが混在し。統一感が無く雑然とした印象。農地（樹木の生産緑地）の緑が道に安らぎを与えている。</li> <li>・ ブロック塀の住宅が比較的多い。</li> <li>・ 土地利用の転換によって状況が変化する可能性がある。</li> </ul>
3 建物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一戸建て・集合住宅・商業（事務所・店舗）が混在。</li> </ul>
4 評価 ●快適性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅と店舗、駐車場などが混在し、統一感が無く快適さをあまり感じない。</li> <li>・ 交通量もあり落ち着いて散歩したい印象でない。</li> <li>・ 農地の前は低い生垣があり対面の住宅と一体となって落ち着きを感じるが、他はブロック塀が多いので殺風景である。</li> <li>・ 全体として散歩にはあまり向かない。</li> </ul>
●清潔感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的には清潔感はあまり感じられない。</li> <li>・ 中間の住宅の辺りは管理が行き届いているが、それ以外はゴミや雑草が多く見られる。</li> </ul>
●調和性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅、店舗、駐車場など異なる用途が混在し。調和が少ない。</li> <li>・ 全体として散歩にはあまり向かない。しては調和性はあまり感じられない。</li> <li>・ 農地（樹木の生産地）の緑は対面の住宅と調和を見せている。</li> </ul>
●親しみ度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通過交通の車が多く、親しみ度は少ない。</li> </ul>
●安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車の抜け道として使われている印象があり、安全性はあまり良くない。</li> <li>・ 仙川通りに連なる部分の折れ道は見通しが悪い。</li> <li>・ 路線別住民アンケートでも、車が多く危険、見通しが悪いという回答が多かった。</li> <li>・ 道の両側に人家の無い場所があり防犯上問題がある。</li> <li>・ 街灯が必要。</li> </ul>



■路線評価 3

路線G (32,3) 大橋通り	
1. 道の状況	
●幅員構成	・車道幅員は6m、3.4.18の道路用地は2mの緑地となっている。
●線形	・大橋通りは、三島神社付近のカーブがきつい。 ・大橋通り北側は、直線と折道の構成。
●歩道	・大橋通りは両側ラインのみ表示。 ・大橋通りから北側150mは両側歩道あり。
2. 土地利用 道沿いの状況	・大橋通りは、商店やマンション、神社があり、それぞれがまちまちで雑然としている。 ・大橋通り北側は住宅地であり、東側が神代団地、西側が野川緑地公園である。 神代団地側は空間が広く、植樹が多くされていて良いが、柵の印象が悪い。 野川緑地公園沿いは、樹木が多く良いが、柵の印象が悪い。 ・3.4.18の道路用地にある樹木は沿道の民家が直接見えにくく、すばらしい。
3. 建物	・大橋通りは商店、集合住宅、神社、戸建てが混在している。 ・大橋通り北側は、東側に神代団地、その他は戸建てである。
4. 評価	
●快適性	・大橋通り北側の神代団地沿いは、緑も多く、空間もありとても良い印象。 ・野川緑地公園沿いは、緑も多く直線で、気持ちよい。 ・3.4.18の道路用地両側に樹木があり、気持ちよい。
●清潔感	・大橋通り北側すぐの商店付近は、道路と建物に空間がなく、特にG14付近は汚い印象。
●調和性	・大橋通りは、土地利用が異なり、統一感がなく不快だ。
●親しみ度	・大橋通りは、人通りが多く、活発な感じがある。 ・三島神社は、たまりのスペースとして最適だが、利用されている様子は見られない。 ・野川緑地公園は、散歩の人がおり、たまりのスペースとして最適。
●安全性	・大橋通りは、カーブで見通しが悪い。車の利用も多く、安全面での対策は重要。 ・野川緑地公園は、昼間は気持ちよい空間であるが、夜は寂しく、通り抜けのない住宅地なので防犯上の懸念がある。





■路線評価 4

路線L(13)

<p>1. 道の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幅員構成</li> <li>●線形</li> <li>●歩道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6m</li> <li>・ほぼ直線で、見通しは良い。</li> <li>・歩道なし。北側片側のみライン表示。</li> </ul>
<p>2. 土地利用と道沿いの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園・畑・屋敷各一箇所を除き住宅地。</li> <li>・建物と道路の間の空間はほとんど無く、生垣も無い。</li> <li>・商店5軒と銭湯の一角と、沿道に西野川郵便局がある。</li> </ul>
<p>3. 建物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈恵東通り側の8階建て集合住宅と何軒かの木造集合住宅以外は戸建。</li> </ul>
<p>4. 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●快適性</li> <li>●清潔感</li> <li>●調和性</li> <li>●親しみ度</li> <li>●安全性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的ゆったりした道であり、沿道建物による圧迫感が無く開放感がある。</li> <li>・小商店群の一角があるが、生活用品を購入できる商店はそろっていない。</li> <li>・比較的ゆったりした道でゴミごみした感じは無い。</li> <li>・ゴミの不法投棄を誘引するような汚い場所や沿道のゴミは無く清潔な印象。</li> <li>・沿道に畑と屋敷と小公園が各一箇所あるのは貴重であり、ゆったりした感じ。</li> <li>・路線西端に8階建て集合住宅があるが、道路境界からかなり離れており、町並みを壊すような感じはしない。</li> <li>・散策したくなる道とまではいえないが、幅員があるので安心して歩ける。</li> <li>・畑・屋敷・小公園が配置されているのが救いになっている。</li> <li>・残存しているのは貝里、近くの小公園を占めてこの一帯の再興方法は無いにつ</li> <li>・30km規制がかかっているが、幅員があり見通しがよいため車は速度を出しやすい。</li> <li>・路線別住民アンケートでも、この路線の危険性を指摘する声が多い。</li> <li>・歩道設置の幅員は無いが、ガードレール等の設置は可能と思える。</li> <li>・路線N(11)との三叉路は、緑野小学校に通う西野川4丁目の子供たちが横断する通であり、横断歩道設置が必要ではないか。</li> <li>・防犯上は見通しがよいので、比較的安心と思える</li> </ul>



■路線評価 5

路線 M (12)

<p>1. 道の状況</p> <p>●幅員構成</p> <p>●線形</p> <p>●歩道</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5. 2 ~ 2. 2 m</li> <li>・ ほぼ東西に直線</li> <li>・ 歩道なし。ラインもなし。西側（慈恵東通りとの交差点付近）に部分的に片側のみガードレール設置。</li> </ul>
<p>2. 土地利用と道沿いの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西側（慈恵東通りとの交差点付近）の8階建て集合住宅、旧7小、2軒の屋敷を除いて、小規模な戸建住宅地商店はなし。</li> <li>・ 住宅の建物と道路の間の空間はほとんどなく、生垣もない。とりわけ旧7小から八幡通りの間は幅員が狭く、沿道に住宅が密集している部分がある。</li> </ul>
<p>3. 建物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西側（慈恵東通りとの交差点付近）の8階建て集合住宅、旧7小、2軒の屋敷を除いて、小規模な戸建住宅地。</li> </ul>
<p>4. 評価</p> <p>●快適性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ とても快適とは言えない道。</li> </ul>
<p>●清潔感</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ とても清潔とは言えない道。とりわけ畑地の垣根部分や屋敷の万年塀付近は、ゴミの不法投棄を誘発しそうな環境。</li> </ul>
<p>●調和性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調和があるとは言えない。</li> </ul>
<p>●親しみ度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親しみは持てない。</li> </ul>
<p>●安全性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅員が狭く、車のスピードは出しにくい。特に旧7小から八幡通りの間は幅員が狭く、消防車の通行も困難である。</li> <li>・ 旧7小から東部分は夜は防犯上の懸念がある。</li> <li>・ 屋敷の万年塀が傾いており、地震の時に倒壊し道路を塞いでしまうような防災上の危険がある。</li> </ul>






■路線評価 6

路線N ( 8, 11 )	
1. 道の状況	
●幅員構成	・ほぼ4m
●線形	・路線11は南北方向ほぼ直線、路線8は東西にほぼ直線。
●歩道	・路線11、8のいずれも歩道なし。片側ラインのみ。
2. 土地利用と道沿いの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのび公園と屋敷を除いては戸建の住宅地で、商店は見当たらない。</li> <li>・屋敷部分を除いては、住宅と道路の間の空間がなく生垣もほとんどない。</li> <li>・万年塀で囲われた屋敷はせっかくの屋敷林が生かされていない。</li> </ul>
3. 建物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのび公園と屋敷を除いては、2階の戸建住宅が沿道両側に建ち並び、一部で建て込んでいる印象がある。</li> </ul>
4. 評価	
●快適性	・公園、両側に屋敷林が見える部分を除き、通行時に特別に快適性を感じない。
●清潔感	・とりわけて汚いという部分は無かったが、公園付近を除くと特に清潔感のある印象ではない。
●調和性	・普通の道と町並みという印象で特別な調和性を感じない。
●親しみ度	・公園と屋敷部分を除いて、特別な親しみは感じない。
●安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20kmの速度規制がかかっており車の通行量が少ないので、道路幅員の狭さは交通安全上は問題が少ないが、防災上、大地震時、火災時に不安を感じる。</li> <li>・両側が屋敷の部分を除いて沿道には住宅が建ち並んでおり、防犯上はそれほど危険な地域とは言えないだろう。</li> </ul>



■路線評価7

路線0 (8)		
<p>1. 道の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幅員構成</li> <li>●線形</li> <li>●歩道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箕和田橋までほぼ同じ4M</li> <li>・なだらかなカーブはあるが、見通しはよい。幅員が狭いので車がスピードを出さないことが必要。</li> <li>・歩道なし。片側ライン表示。</li> </ul>	
<p>2. 土地利用と道沿いの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのび公園付近は良好な住宅地</li> <li>・のびのび公園より北側に生垣はあまりない。</li> <li>・03~05は道際に建物が迫り、空間が少ない。</li> </ul>	
<p>3. 建物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通り沿いは戸建住宅がほとんどである。</li> <li>・葦和田橋寄りに木造賃貸アパートが数棟ある。</li> </ul>	
<p>4. 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●快適性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅員が狭い割りに建物が高くないので、快適である。</li> <li>・のびのび公園が住宅地の単調さに変化と開放感を与えている。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●清潔感</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく管理されていて、ややよい印象</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●調和性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい通りである。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●親しみ度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量も余りなく、落ち着いた雰囲気である。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しはよいが車とすれ違う場合は危険。</li> <li>・夜間は人通りが少ないので防犯上問題ありか。</li> </ul>	

■路線評価 8

路線P (1, 5, 7)		
1. 道の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幅員構成</li> <li>●線形</li> <li>●歩道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野川橋からほぼ幅員 4 m</li> <li>・高圧線鉄塔までは直線、その先直線に曲がる。</li> <li>・幅員が狭いので、車はスピードを出さないことが必要。</li> <li>・歩道なし。一部片側ライン表示。</li> </ul>
2. 土地利用と道沿いの状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅地が細分化で戸建住宅が多く見られる。</li> <li>・〇の通りから野川に出るまでの間は、大型の旧分譲地で落ち着いた住宅街。</li> <li>・野川沿いは段差があり、住宅裏を配している。</li> <li>・住宅の車庫があり、野川沿いの車の通行はなくせるかどうか。</li> </ul>
3. 建物		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑が少なく建物が込み合っている。</li> <li>・野川沿いは、集合住宅が多い。</li> <li>・全体的に戸建てが多い。</li> </ul>
4. 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●快適性</li> <li>●清潔感</li> <li>●調和性</li> <li>●親しみ度</li> <li>●安全性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅員が狭く戸割が小さいが前庭が取られていて普通。</li> <li>・高圧線付近は道路際まで建物がせり出しているため、余り快適性はない。</li> <li>・高圧線前にある樹木と高圧線の空間を生かし、街角パーク的に整備できないか</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一本の道は3つの顔をしている。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅の建設が始まり、街並みが低層から複合の規模の混合エリア化している。</li> <li>・野川沿いは、宅地側に建物との空間が少なく、生垣等の緑も少なく、水辺・緑と調和が取れない。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野川沿いは、水辺・緑が多く、余暇性の親しみがある。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車の通行量がかかなりあり、安全性に問題がある。</li> </ul>

